

⑪ 公開実用新案公報 (U)

昭63-145588

⑫ Int. Cl.

B 23 K 11/32

識別記号

351

府内整理番号

7717-4E

⑬ 公開 昭和63年(1988)9月26日

審査請求 未請求 (全3頁)

⑭ 考案の名称 線材と板材との溶接部の構造

⑮ 実願 昭62-37331

⑯ 出願 昭62(1987)3月14日

⑰ 考案者 五井 正治

大阪府門真市大字門真1048番地 松下電工株式会社内

⑱ 出願人 松下電工株式会社

大阪府門真市大字門真1048番地

⑲ 代理人 弁理士 石田 長七

⑳ 実用新案登録請求の範囲

(1) 金属の線材と線材の直径よりも大きい肉厚を有した金属の板材との溶接部の構造であつて、板材の適所に膨出部が形成され、膨出部の先端面が板材の残りの部分より薄肉に形成されるとともに、膨出部の先端面に線材が溶接されて成る線材と板材との溶接部の構造。

(2) 膨出部の先端面の板材表面からの高さを、膨出部以外で板材の表面に突出する部分の板材表面からの高さよりも高く設定して成る実用新案登録請求の範囲第1項に記載の線材と板材との溶接部の構造。

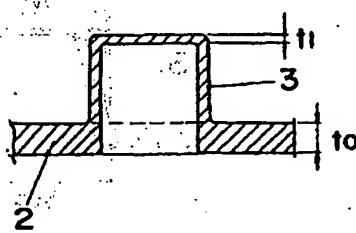
図面の簡単な説明

第1図は本考案の実施例1を示す斜視図、第2図は同上における膨出部の断面図、第3図は同上の一剖面斜視図、第4図は同上の溶接作業を示

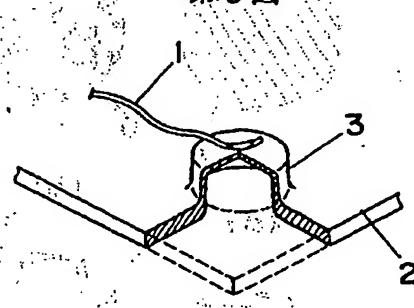
す断面図、第5図および第6図は同上の膨出部の具体形状を示す断面図、第7図a～dはそれぞれ同上の膨出部の先端面の状態を示す平面図、同図aに対応する板材の形状を示す断面図、板材の表面の状態を示す平面図、および同図cに対応する板材の形状を示す断面図、第8図は同上における膨出部の他の形状を示す断面図、第9図a～cは膨出部の加工工程の一例を示す工程図、第10図は本考案の実施例2を示す断面図、第11図および第12図は同上の使用状態を示す側面図、第13図a, bはそれぞれ従来例を示す要部斜視図、および断面図、第14図a, bはそれぞれ他の従来例を示す要部斜視図、および断面図である。

1は線材、2は板材、3は膨出部、15は部品、16は突起である。

第2図



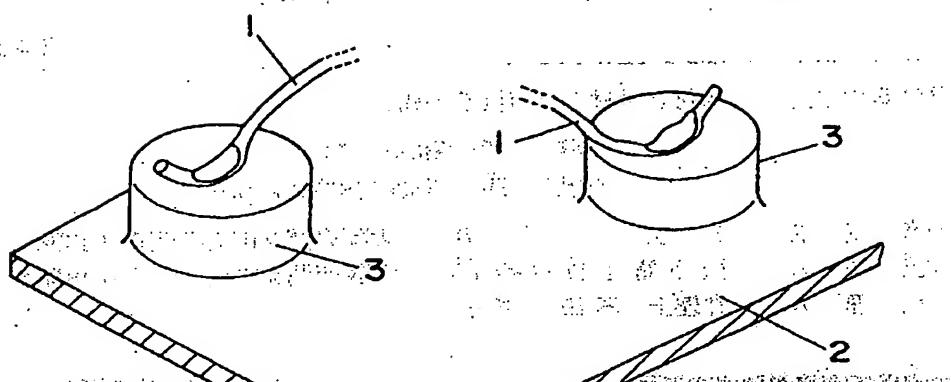
第3図



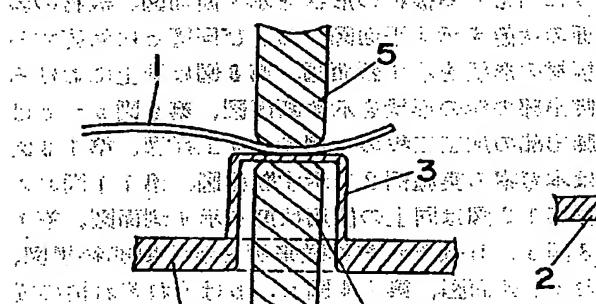
BEST AVAILABLE COPY

第1図

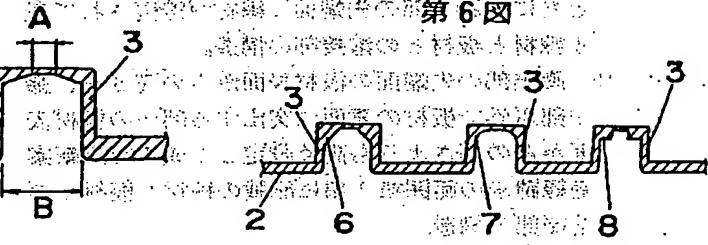
1…板材
2…板材
3…形出部



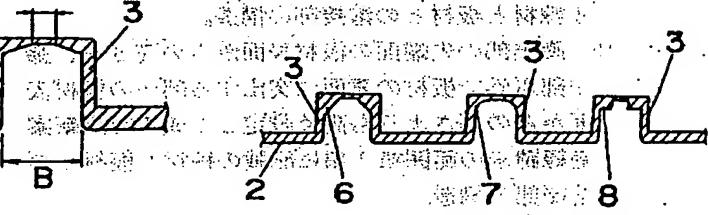
第4図



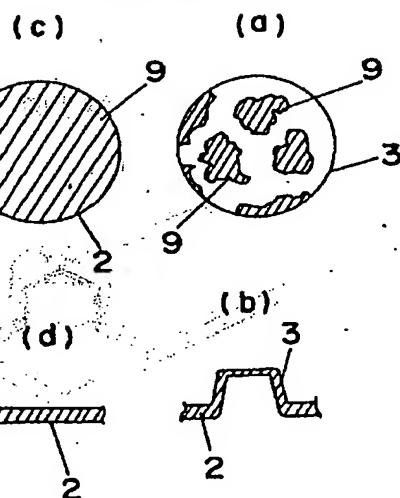
第5図



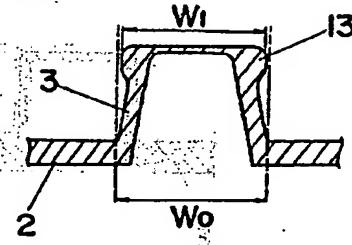
第6図



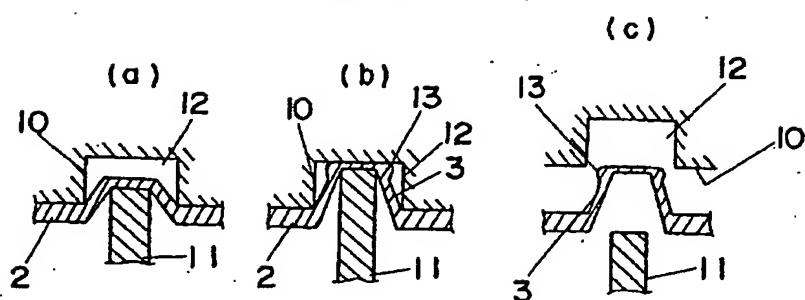
第7図



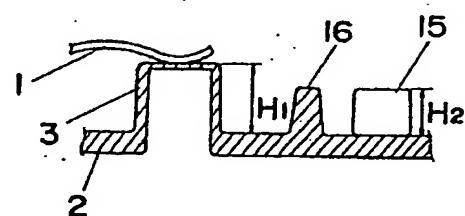
第8図



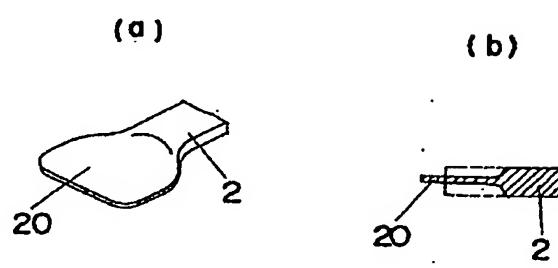
第9図



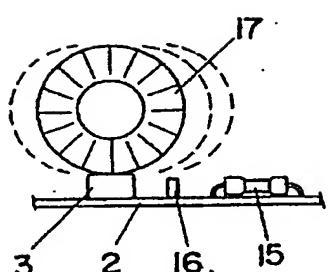
第10図



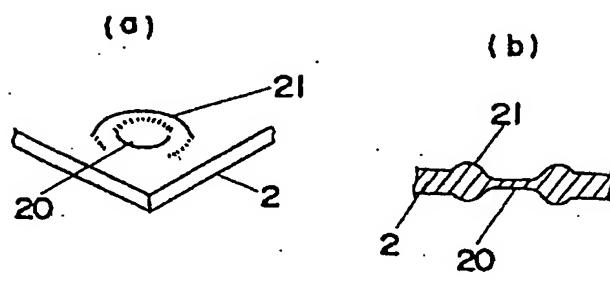
第13図



第11図



第14図



第12図

